

大学入試改革—プレテスト踏まえた授業案

多様な視点でテキスト構造化

国語



湯尾 健児

三田国際学園高校校長

「ふるさと」考える意義

教育界でグローバル化が叫ばれて久しい。ただ「グローバル」の意味を真剣に考え、自分なりに解釈し、行動している高校生は果たして日本にどのくらいいるのだろうか。

世界標準語となっている英語ではなく、世界で見れば極めてローカルな日本語を国語として

二つの教材を通して

「自分自身で『ふるさと』を定義しよう」という記述から、言葉の定義、生徒にどのように聞いてみた。すると出てきたのは自然、海、山、緑、田舎……といったイメージに基づいた回答がほとんどだった。

資料1としてカズオ・イシグロのインタビュー記事を読ませる。彼の「ふるさと」を捉え、自分のそれと比較するの

授業計画

授業の流れと学習評価	
〈授業の流れ〉①疑問：トリガークエスチョン ②仮説：自己の考えを構築 ③検証：グループディスカッション ④結論1：プレゼンテーション、全体共有 ⑤結論2：レポート作成	
〈評価〉ルーブリック(定期試験含む)を使って評価する	

教材	学習活動
『ふるさと』を定義しよう(問い)	○自分が抱いている「ふるさと」のイメージを言語化し、①個人で考えを構築②グループで共有
A: 「カズオ・イシグロインタビュー」『文学界〜2006年8月号』	○カズオ・イシグロが感じた「ふるさと」を読み取り、自分の「ふるさと」と比較する ○自分の読み取りとグループの読み取りを比較 ①個人でインタビュー記事を要約 ②グループで共有
B: 「総務省資料『これからの移住・交流施策のあり方に関する検討会中間とりまとめ』平成29年4月」	○総務省資料に書かれている「ふるさと」を捉え、自分の「ふるさと」、カズオ・イシグロの「ふるさと」に対する考え方を比較 ○「これからの移住・交流施策のあり方」を提案 ①個人で資料を要約 ②個人で施策を思考、提案 ③グループディスカッション ④グループでまとめ、全体プレゼンテーション
C: 「坂口安吾エッセイ『文学のふるさと』」	○坂口安吾が感じた「ふるさと」を読み取り、これまでの「ふるさと」の定義と比較、「ふるさと」の再定義 ○「これからの移住・交流施策のあり方」を再提案 ①個人でエッセイを要約 ②グループで共有 ③個人レポート作成

人口減少・少子高齢化による地方の弱体化と東京一極集中の是正のため、「これからの移住・交流政策の提案」を考え、グ

ループで発表する。その過程で五つの表と三つの図を含んだ省庁の文章を読解する。これは、プレテストの第1問で狙っていた「現代の社会生活で必要とされる実用的な文章・複数資料を的確に読み取る力、第2問の「図表が含まれた論理的な文章を図表と関連付けながら的確に読み取る力」に対応できるものももちろん、今回のプレ

テストでは出題されていない「二」を付けた「ふるさと」というのが代表として現れている。総務省の意図している方向性が読み取れた、という意見とともに、「ふるさと」を定義するには「人」という、もう一つの重要な視点があるとの意見もあった。

最後に読むのは坂口安吾の「文学のふるさと」。そして、この単元を学習して「ふるさと」を再定義し、「これからの移住・交流政策」の提案をレポートにまとめさせる。

「我々のふるさと」というものは、生存それ自身が孕んでいる絶対的孤独のようなものである。むごたらしく、救いのないものだ。人間のふるさとをここに見ます。文学はここから始まる」と一読すると暗い気分になりかねない坂口安吾の思いを受容し、自らの考えを再構築できるのかも確認したい。

今回、発表年人も文体・形式も全く違う三つの文章を通して既得知識を更新し、テキスト内容を構造化し、総合的に解釈する力を育みたいと考えた。持続可能な社会を創っていく一員であることを自覚し、他者に社会に貢献するには、どう自分自身の考えを打ち出し、道を切り拓いていけばいいのか。国語の日々の授業で培った力を土台として、自由な発想をもって創造していく人になってもらいたい。

プレテスト問題(一部掲載)

表1

	近代道路空間計画システム	路地空間システム(近代以前空間システム)
主体	クルマ・交通	人間・生活
背景	欧米近代志向	土着地域性
形成	人工物質・基準標準化	自然性・多様性・手づくり性
構造	機能・合理性・均質性	A 機軸物道性・場所性・領域的
空間	B 広域空間システム・ヒュールキー	地域環境システム・固有性
効果	人間条件性・国際普適性	人間ふれあい性・地域文化継承

第2問 次の文章と図表は、宇杉和夫(宇杉)路地がまちの記憶をつなぐの一部である。これを読んで、後の問い(問1〜5)に答えよ。なお、表1、2及び図3については、文章中に「表1」「表2」などの記載はない。

近代空間システムと路地空間システム

訪れた都市の内部に感じるのは、まちの路地に触れたときである。そこには香りがあって、固有で特殊でありながら、かつどこかで体験したことのある記憶がよぎる。路地と内部空間との結びつきと建物のすきままで、さまざまはみ出しものが管理されている。路地と内部空間との結びつきは建物とドーナツにより単純である。日本の路地は敷地と敷地の間にあり、また建物と建物の間にあり、建物には出窓あり、掃き出し窓あり、縁あり庇あり、塀あり等、多様で複雑である。敷地の中にも建物の中にも路地(土間)はあった。

日本の路地空間には西欧の路地にはない自然性がある。物質としての自然、形成過程としての自然、の2つである。日本の路地を考えたとき、やはり建物(4つ)に囲まれた路地の特徴は、砂や石や土と緑の自然の空間である。そこにその閉じた自然は床下を通って建物外部にもつながっている。日本の路地にも、坪庭のように全面的ではないが自然性が継承されている。また路地空間の特徴は、ある敷地が集まった居住建築の中で軒や縁や緑の重なった通行空間であることである。そこは通行空間であるが居住空間のウチの空間であり、その場所は生活領域としてのまとまりがある。ソトの空間から区切られているが通行空間としてつながるこの微妙な空間システムを継承するには物理的な継承だけでなく、近隣コミュニティの中に相関的秩序があり、通行者もそれに対応できているシステムがある。

第2問 問題のねらい

図や写真が含まれた論理的な文章を題材としている。図表や写真と文章とを関連付けながら、構成や展開をとらえるなど、テキストを的確に読み取る力を問うとともに、設問中に示された条件に応じて考えを深め、テキストの内容と結び付けた情報とそれらの適切な論理の展開を判断する力を問う。

第2問 問5

【主に問いたい資質・能力】情報の扱い方に関する知識・技能。テキストを踏まえ、推論による情報の補正や、既得知識や経験による情報の整理を行って、テキストに対する考えを説明することができる。テキストに含まれている情報を統合したり構造化したりして、内容を総合的に解釈し、テキストに対する考えを説明することができる。

- 問5 ままづくりにおける「路地の空間の長所と短所」について、緊急時や災害時の対応を可能にする密なコミュニティを形成するという長所がある。一方、そうした生活環境としてのまとまりはしばしば自然発生的な秩序ともあるため、近代的な計画に基づいて再現することが難しいという短所がある。
- ① 機能性や合理性を重視する都市の生活環境であって、路地の空間は緊急時の対応を可能にする密なコミュニティを形成するという長所がある。一方、そうした生活環境としてのまとまりはしばしば自然発生的な秩序ともあるため、近代的な計画に基づいて再現することが難しいという短所がある。
 - ② 日本の路地の空間は欧米の路地とは異なり、自然との共生や人間同士のふれあいを可能にするという長所がある。一方、自然破壊につながるような区画整理を拒否するため、居住空間と通行空間が連続的に広がらず、高層の単身居住者が多くなり、災害時や緊急時において孤立してしまうという短所がある。
 - ③ 豊かな自然や懐かし風景が残存している路地の空間は、持続的に住みたいと思わせる生活空間であり、相互扶助のコミュニティが形成されやすいという長所がある。一方、計画的な区画整理がなされていないために、災害時には、緊急車両の進入を妨げたり住民の避難を困難にしたりする短所がある。
 - ④ 路地の空間には、災害時の避難行動を可能にする機能的な道・道路であるという点で、近代的な都市の街区にはない長所がある。一方、都市居住者にとって路地の空間は地域の原風景としてほかり捉えられがちで、そうした機能性が合理的に評価されたり、活用されたりしにくいという短所がある。
 - ⑤ 再開発を行わず近代以前の地域の原風景をとめる低層住宅の路地の空間は、コミュニティとしての結束力が強く、非常事態においても対応できる長所がある。一方、隣接する欧米近代志向の開放高層居住空間のコミュニティとは、価値観があまりにも異なるために共存できないという短所がある。



Webに第2問の全文を掲載

第5回 夏の教育セミナー

新学習指導要領と大学入試改革

主催：日本教育新聞社 / 株式会社 ナガセ (東進ハイスクール・東進衛星予備校)

この夏8月に、全国12都市で開催!

5年目となる本年はより実践型へ!

昨年8月、全国12会場で「夏の教育セミナー」を開催。約5,000名の先生方にご来場いただきました。今年も大盛況が予想されます。ぜひご参加ください!

予告

全国12都市・会場にて、順次開催いたします。お近くの会場へ、ぜひご参加ください。

開催地・日程

8/1* 仙台 [会場] TKPガーデンシティ仙台	8/2* 大宮 [会場] パレスホテル大宮	8/3* 東京 [会場] ベルサール新宿グランド
8/4* 札幌 [会場] 札幌コンベンションセンター	8/6* 福岡 [会場] ヒルトン福岡シーホーク	8/7* 広島 [会場] 広島コンベンションホール
8/8* 横浜 [会場] 横浜ロイヤルパークホテル	8/9* 大阪 [会場] コングレコンベンションセンター	8/10* 金沢 [会場] ANAクラウンプラザホテル金沢
8/17* 神戸 [会場] ホテルオークラ神戸	8/20* 千葉 [会場] 三井ガーデンホテル千葉	8/21* 名古屋 [会場] 名古屋観光ホテル

*プログラム詳細は順次公開いたします。もうしばらくお待ちください。